



希望の鐘

宇部市立見初小学校

令和5年8月25日

児童数
96人
(8/25現在)

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

2学期もポジティブシンキングで！

校長 川本 朋子

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。元気な子どもたちの声と笑顔に、校舎も嬉しそうです。さて、これから約4か月の長い2学期を実りのある日々にするために、ぜひみんなで合言葉にしたいのが「今日もポジティブシンキングで！」です。

最近よく耳にするポジティブシンキングとは、「肯定的な考え方」や「前向きな考え方」のことで、何でも前向きに物事を考えればそれは実現し、人生はうまくいくという考え方のことだそうです。

1学期の人権教育講演会で、相手だけでなく自分にも励ます言葉をかけることの大切さを学びましたが、ポジティブシンキングもそれに通じるところがあると思います。

そういえば、前向きな発言をすることで活躍している有名人もいます。例えば「二刀流」でおなじみのメジャーリーガー大谷翔平選手。大谷選手の言葉に「悔しい経験がないと嬉しい経験もない」があります。大活躍の大谷選手ですが、決して、簡単にホームランを打ったりピッチャーとして3振をとったりしているわけではありません。うまくいかないときや悔しい思いをすることもきっとあると思います。そんな時でも「この悔しい経験があとで、嬉しい経験につながる」と考えて、前向きな気持ちで努力しているのでしょう。

私自身も、子どものころから「失敗は成功のもと」という言葉に、ずっと励まされてきました。「よかったじゃない。そのやり方ではうまくいかないってわかったんだから、それは成功と同じなんだよ！」と自分で自分に言い聞かせています。このように、私たちをポジティブな考えにしてくれる言葉は、いくつもあります。自分の心にぴったりくる言葉を持ち、前向きな気持ちに変える習慣を身に付けたいものです。

2学期も様々な学習が待っています。児童の皆さんには、ぜひ勇気を出してチャレンジしてほしいと思っています。そんな時に大切なのは、ポジティブシンキング。大丈夫。きっと上手くなります。失敗してもそれは成功のもと。恐れることはありません。さあ、みんなで一緒に前に進みましょう！児童の皆さんの笑顔がいっぱいはじける2学期を楽しみにしています。

保護者や地域の方々との あつ〜い夏 でした！

今年は4年ぶりに、見初小学校の児童が市子連のドッジビー大会に参加しました。大会までに何日間も体育館で練習を積み、時には練習試合で腕試ししながら力をつけました。大会では、5年生以下の部で見事3位に！計画の段階から練習、大会まで、育友会が中心となってお世話をしてくださり、とても良い体験となりました。来年の出場も期待しています。

また、1学期の終業式の日から始まった2泊3日の「通学合宿（6年希望者参加）」や「ラジオ体操」、「夏休みお楽しみ会&子どもと大人の人権学習会」や「見初慰霊盆踊り・夏まつり」など児童が参加できる地域での行事があり、とても良い思い出になりました。夏まつりでは育友会もスーパーボールすくいやヨーヨー釣りのコーナーを担当され、祭りを盛り上げておられました。これから学校でも、地域や家庭と連携して、教育活動を展開していけたらと考えております。2学期もよろしくお願いいたします。



指導者のレクチャーのもと、昭和町公園で木登り